

日本女子大学 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

（大学全体）

日本女子大学は、建学の精神及び本学が育成する学生像を踏まえて、本学の教育と学修を通して学生が次の能力を修得することを学位授与の方針としている。

- ・ 建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。
- ・ 強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。
- ・ 自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。
- ・ 他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同によりよい社会を築くことができる。

■家政学部・家政学部通信教育課程

- ・ 人間生活を科学的かつ実践的に考察することができる。
- ・ 生活そのものが持つ総合性を理解し、専門的知識を持って社会に貢献することができる。
- ・ 現実の生活を客観的に把握し、自ら問題を発見し、様々な人と協働して解決していくことができる。

■文学部

- ・ 健全な批評精神を持ち、ものごとを客観的・論理的に考えることができる。
- ・ 専門的知識に裏付けられた調査力・考察力を持って問題を深く追究することができる。
- ・ 十分なコミュニケーション能力と発表力を持って、他者と問題・関心を共有することができる。

■人間社会学部

- ・ 人間と社会、及び両者の関わりについて様々な視点から考察することができる。
- ・ 人々と実践的に関わり合いながら、専門的知識を踏まえてものごとを見ることができる。
- ・ 地域社会の問題から世界の問題まで、広い視野に立って考察し、具体的な解決を引き出すことができる。

■理学部

- ・ 自然科学についての総合的な知識に基づいて、様々な角度から系統的に考えることができる。
- ・ 自然科学の各分野の専門的知識に基づいて、環境問題等社会がかかえる問題の解決に貢献できる。
- ・ 論理的な思考により、問題の発見と解決に自ら努力することができる。

■国際文化学部

- ・ 英語を使って自分の体験を世界に向かって伝え、他者の意見を聞くことができる。
- ・ 英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語を通じて文化を多面的に理解することができる。
- ・ 伝達・表現のために ICT を活用することができる。
- ・ 他者の意見と自分の意見を区別し、自己の意見を論理的に組み立て、有意義な仕方で世界に向けて発信することができる。
- ・ 地域文化や芸術文化についての広汎かつ専門的な知識を獲得し、文化の多様性に関する基本的な考え

方を理解できる。

- 様々な文化・地域・業界・フィールドにおいて実際的な問題を体験的につかみとり、問題の重要性を明確にしたうえで他者と共有できる。
- 実際的な問題を、広汎かつ専門的な知識と関連づけ、他者と共有できる的確な問いとしてまとめあげることができる。
- 問いの解決のために、綿密な計画を立て、取り組むことができる。
- 実践的な取り組みの成果を、的確な言語表現や ICT を用いた説得的な表現様式で、広く世界に還元し、新たな文化の創造に専門性をもって貢献できる。